

月刊島民

中之島

Vol.115 2018 2/1

●iPadサイズ(と、ほぼ同じ)

橋を渡る人の「街事情」マガジン



中之島イマジユイ



ナカノシマ大学

「ライブ!
上方落語史観」
高島幸次 笑福亭たま
申し込み受付中!

大中之島へ タイムトリップ。

イラストで

Advertisement

ミナミの百貨店が
地下鉄開通記念に
作りました



昭和8年(1933)に梅田～心斎橋間で地下鉄御堂筋線が開通し地下直結になったことをお知らせするために心斎橋大丸がつくった紙製おもちゃ。もともとは大きな台紙に印刷されており、各自切り取って、芯棒を挿せば完成。鮮やかな色彩が楽しげで、しっかりと淀屋橋駅まわりの様子も描かれている。ミナミの店舗だが、やっぱり絵にするなら中之島が映えると思ったのだろうか。誌面では実際にくるくる回る様子がお伝えできず残念。



**心斎橋大丸
地下鉄開通記念
メリーゴーラウンド
(1933年)**

朝日ビルディングや大阪城、地下鉄などが細かく書き込まれている。

今も昔も、水辺というロケーションはセールスポイントらしい。渡辺橋のたもとにあったかき船の「かき伊」と、肥後橋の南詰にあった精肉店の「川柳」。どちらも特徴的な橋柱のモチーフを入れ、水辺の景観ごとアピール。店に来るときの目印にもなり、マップとしても使えて一石二鳥？すでに「水都」というフレーズも一般的に使われていたようだ。

【川柳】のチラシ

現在より東に架かっていた肥後橋。下の絵は木橋なので、明治末期のものか。奥の郵便局と朝日新聞ビルは、店から見える景色？



水辺にあった
人気料理店の
チラシです

【かき伊】のチラシ

牡蠣船は、かつては大阪の名物だった。昭和2年(1927)に新しくなった渡辺橋の橋柱から、昭和初期のチラシと考えられる。



Magazine

あ たかも外国の街を撮影してきたかのような写真。それぞれ大正末期と昭和初期に大阪市から発行された雑誌の表紙だ。『大大阪』は大阪都市協会という団体が創刊した地域誌だが、後者は大阪市が発行する特別市制度を伝える教科書のようなもの。表紙の写真とあまり関係ないのでは？ 市民の誇りを自覚させるためには、近代的な美しい街並みを持つ中之島が起用される必要があったのか。

『大阪市民と特別市制』(1932年)

昭和初期にも、府との二重行政の解消のため大阪市を「特別市」として独立させようという動きがあった。市民へ支持を呼びかけるパンフレットの表紙は中之島。



大阪市発行の
制度案内にも
中之島が登場



『大大阪』(1925年)

大阪市に関する都市問題の調査研究の報告書として、大阪市が発行。その創刊号だ。後に『大阪人』と名を変えた。

大阪の近代化が急速に進んだ、大正末期から昭和初期の「大大阪時代。大衆向けのチラシやポスター、雑誌などイマジユイと呼ばれるものが盛んに発行されるようになった頃でもある。そのモチーフとして好まれていたのが美しい中之島の景観だ。見て楽しい、知って面白いモダンな世界へようこそ。

取材文／江口由夏 山國恭子(本誌) 協力／橋爪節也(大阪大学総合学術博物館教授)



朝日新聞社発行。
外国人向けの
大阪ガイドも
中之島だらけ



朝日新聞社 『PRESENT-DAY NIPPON』

昭和初期に発行。日本文化の紹介や、海外向け企業広告を掲載。

では、外国人向けの雑誌に掲載された大阪の姿はどうだろう。朝日新聞社が発行した雑誌にでかでかと紹介された写真はどれも中之島。外国にも劣らない近代都市の景観がアピールポイントだったようだ。現在インバウンド人気を集めているキタやミナミを紹介する観光ガイドとは、ちょっと違う。最近、観光局も中之島にスポットライトを当ててきた。大大阪リバイバルともいえるか。

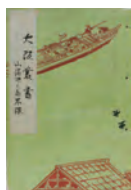


Illustration

当 時の中之島を語るに外せないのが中之島公園だ。ベルサイユ宮殿の庭園を模したようなシンメトリーのデザイン、園内に置かれた先進的なスポーツ施設や音楽ホールが人を呼び、日常的にバスケットボールや鉄棒といった遊びが行われていた。そんなワンシーン、絵画や挿画の題材となるほど、画家たちを惹きつけていたようだ。

富田漢仙 「中ノ島公園」 (昭和初期)

院展同人(審査を経ずに出品できる作家)だった画家が描いた、こちらも難波橋あたりの様子。



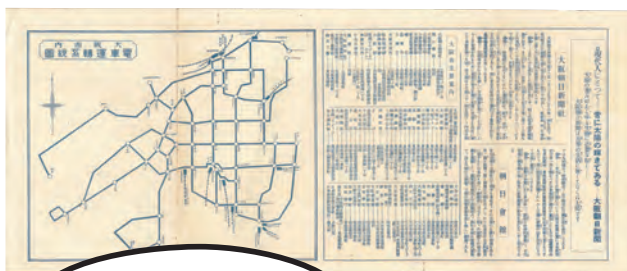
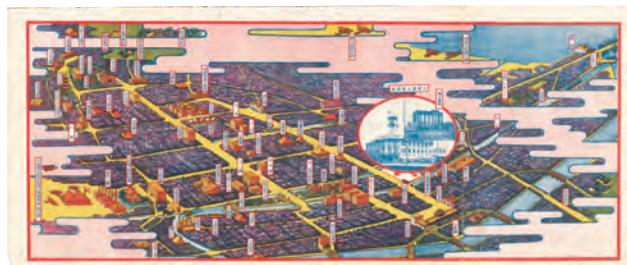
『大阪叢書』 (1928年)

当時は、古い大阪の姿を再評価する動きも。そんな郷土研究誌のひとつだ。昭和初期の難波橋に触れ、近代都市の日常を描いている。

中之島公園での
スポーツが
絵画のモチーフに



Route Map



京阪電車の 沿線案内です

『朝日新聞鳥瞰図』 (昭和初期)

自社の紹介を兼ねて、屋上から飛行機を飛ばして描いた中之島の鳥瞰図。



大阪遊覧バス (昭和初期)

「青バス」こと、民営の遊覧バスが登場し始めた頃。大阪名所の絵ハガキも販売した。

乗 り物の沿線情報のマップは、実用的でかつ見て楽しいイマジュリィ。当時活躍した鳥瞰図絵師・吉田初三郎のデビュー作品といえる『京阪電車御案内』が当時の皇太子に賞賛されたことで、鉄道会社を中心に路線案内図や鳥瞰図作りが広がった。観光名所の紹介を合わせたもの、自社ビルを空から紹介したものなどバリエーションも多彩。

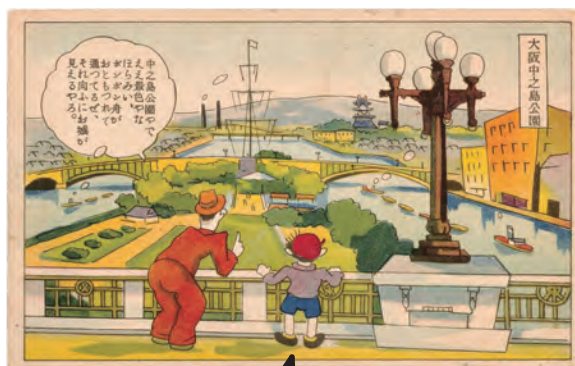
『京阪電車御案内』 (1913年)

皇太子の目に留まったほどの名作。着物姿の女性も可愛い。





大阪モダン街



大阪中之島公園



大阪堂島川

千葉かずのぶ
「滑稽漫画大阪見物」
(1937年頃)

朝日ビル上空の飛行機、中之島公園の戦艦マストなど、細部に注目!

Postcard

**名所？ 迷所？
おみやげだけじゃない
絵ハガキ**



**大阪水道断水により
棧橋沍水を汲む築港方面の人々
(1934年頃)**



中之島イマジユリイに見る「グレート大阪」。

橋爪節也
大阪大学総合学術博物館 教授



はしづめ・せつや
1958年大阪市生まれ。大阪大学総合学術博物館教授・前館長。専門は近世近代の美術史・文化史で、編著書に『大大阪イメージ—増殖するマンモス／モダン都市の幻像—』（創元社）などがある。大阪の絵画だけでなく、大衆的なイマジユリイのマニアックなコレクターでもあり、「阪急古書のまち」には定期的に顔を出すのだとか。

見て楽しむだけではない、
モダンイマジユリイ。

どこかモダンな香りのする絵ハガキや広告、挿絵やポスター……。私はこれを「イマジユリイ (imagerie)」と呼んでいます。フランス語でイメージ図像という意味で、大学や美術館の研究者といった愛好家が集まって研究する学会もあるほど。大衆向けの印刷物がイマジユリイの対象ですが、逆にいえば、美術館にあるような一点ものの絵画以外は、すべてがイマジユリイ。商品のパッケージやマツチ箱だつてそうです。デザインやモチーフなど視覚的な美しさを楽しむのとは別に、当時の人々の生活や文化を知るうえで重要な資料となります。

たとえば、月刊島民プレスが入っている堂島ビルディングは大正12年（1923）の竣工で、ホテルや森永のスタンドがテナントだったことが話題でした。1階には「サロン高橋」というレストランがあり、当時のメニュー自体もイマジユリイのひとつです。メニュー名に「桜咲く国のカクテル」とありますね。これは宝塚歌劇団と並んで人気を博していたOSK（大阪松竹歌劇団）の



電気科学館の
イベント告知チラシ
大阪市立科学館の前身。プラネタリウム「カール・ツァイスII型」のシルエットがクール。

流行が生み出された、
「大大阪」前夜。

大正14年（1925）に第二次市域拡張を行なった大阪市の人口は、東京を超え、世界第6位となりました。そう、「大大阪」は実際、とても大きな都市だったのです。

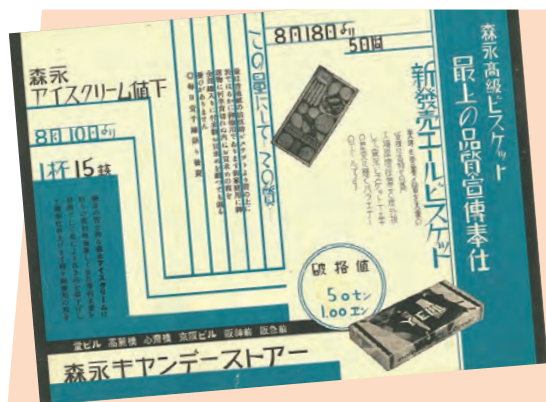
明治新政府の施策により経済が落ち込み、元気がなくなった大阪がなぜ急成長したのか。大阪遷都を提案して幻に終わってしまった大久保利通もびつくりでしょう。

その要因のひとつに、大正12年（1923）に発生した関東大震災の被災者が、いつ

「プレイガイド」

当時、朝日ビルに入っていたプレイガイド社が作成。公演情報が傘連判状のように…。壁に貼ることができる仕様。





森永の
キャンペーンチラシ
堂島ビルヂングにココア
やアイスが食べられるス
タンドがあった。

ミズノの
歳末セール告知
淀屋橋にある、ご存じス
ポーツ用品メーカー。当
時の表記は「美津濃」。



ここで、外国向けに作られた誌面にも注目して
みます。『GREATER OSAKA』という英
語表記に、違和感を覚えませんか。現在は、「大
大阪」は「グレート大阪」という呼び方で知られ
ていますが、これでは「グレートー大阪」。なぜ

「イメージを作った？」 「大大阪」イメージを作った？

劇団もそうですが、大大阪の流行を作ったのは、
女性たちの存在が大きいかもしれませんね。彼
女たちが街で買い物をするようになり、身を飾る
化粧品や洋服に目を向け始めると、それまで資本
家を顧客としていた百貨店は日用品を扱うよう
になりました。イメージユリイに女性の像を起用する
のは、ちゃんと狙いがあるのです。



せいに大阪へ転居したというものがあ
ります。その中には、今というクリエイターたち
も含まれていました。彼らが大阪を拠点にしたこ
とで、新たな流行が生まれたのです。
先ほども名前が出た堂島ビルヂングには、ブラ
トン社という出版社がありました。この会社は、
化粧品会社である中山太陽堂（現在のクラブコス
メチックス）が、女性向けの文芸誌を創刊するべ
く設立したものでした。小山内薫と直木三十五が
編集を担当し、大正11年（1922）創刊の『女性』
に続き、大正14年（1925）に『苦楽』を創刊。
女性が好みそうなデザインの記事も載ることなが
ら、江戸川乱歩や泉鏡花、今
東光らが執筆筆に名を連ねる
という豪華さ。彼らこそ、ま
さに震災の影響で大阪に拠点
を移すことにしたクリエイターたちでした。

比較級？

実は、大きな都市を示す言葉として、外国では
「大〇〇」「グレート〇〇」と呼ぶのが一般
的だったのです。たとえばロンドンも、中心部と
その周辺都市を含めた区域は「大ロンドン」「グ
レートロンドン」と呼ばれていました。つまり、
『GREATER OSAKA』は面積的に大きな
都市であると外国にアピールしているのです。

ところが、いつの間にか『GREATER』は
『GREATER』に変わり、「グレート大阪」という
響きももてはやされるようになりました。都市の
「量」を示していた言葉が、都市の「質」を表す
ようになったわけです。さしずめ、『GREATER
OSAKA』は「偉大な大阪」といった意味合い
でしょう。大阪の人々の心象にも深く作用し、絵
ハガキや広告、雑誌のタイトルでも広く使われ
るようになりました。

モチーフだけでなくフレーズにも注目す
ると、時代の流行が読み取れて面白いと
思いますよ。東京や京都でもイメージユリ
イは多く作られていましたが、モダンな
中之島の景観と人々の熱意が大阪独自の
文化を築いていたといえます。

大大阪のイメージを一身に引き受け
ていた中之島。しかし、昭和6年（1
931）に、昭和の天守閣復興が成
し遂げられると、大阪のシンボルの座は、徐々に
中之島から大阪城へ譲られていくこととなります。
それは当時の軍事情勢も絡み、やがては関東大震
災の復興が進んだ「大東京」に逆転される展開に
なっていくのですが、今回はひとまずこの辺で。

尚美堂の 商品カタログ

明治33年（1900）に淀
屋橋南詰で創業。エジプ
ト風のあしらいが特徴的
な表紙は、エジプト式の
デザインが話題だった朝
日会館の影響だろうか。



新大阪ホテルの バンフレット

中之島3丁目に開業し
た、リーガロイヤルホテ
ルの前身。ベネチアンゴ
シック式の豪華な外観
だった。



大阪市立中央図書館の

「オープンデータ」で つくってあそぼう。

誰でも、どこからでも、気軽に大阪のイメージを閲覧できる場所がある。
大阪市立図書館のホームページだ。
その本館にあたる中央図書館を中心に、面白い取り組みが始まっている。
取材文／江口由夏（本誌） 資料提供／大阪市立中央図書館



スケジュール帳&マグネット

「市販のマグネットの上に、印刷した絵を貼れば完成です」。今年は戌年らしく、犬の絵が可愛い「引札」（昔のチラシ広告）も活躍する予感。

今や図書館が所蔵資料をデジタル化し、一般公開するのは珍しくない。大阪市立図書館でもweb上で資料が閲覧でき、2001年にはバーチャルなテーマ展示「Webギャラリー」もスタート。館内で見える「本物」には及ばなくても、画像解像度の向上や資料の検索しやすさ、何よりデジタルアーカイブ約28000点からよりどりみどりとというのが嬉しく、かく言う本誌も日頃お世話になっている。



そんな大阪市立図書館では、2017年に公共図書館初の試みとして、著作権が切れた資料を「オープンデータ」にしてしまった。「デジタル資料に『自由に使用して大丈夫』というCC-BY（クリエイティブ・コモンズ・ライセンス）の表

示があれば、特に利用申請も必要なく、どなたでも自由に活用できるんです」と大阪コーナー担当の金澤愛弥子さん。明示すれば商用や改変もOKだ。その背景には、公的な資料データを一般市民と共有して地域活性につなげたいという意図があるのだが、アクセスが急増したのはやはり市内各所を描いた錦絵や絵ハガキといった見ごたえのある画像だという。

中央図書館の司書自らの「Twitterで加

工アイデアを披露したり、館内でパソコンさえあればできる簡単な画像加工講座を開くなど、普及への意欲は十分。悩みは、「利用申請が不要なので、どこで活用されているか把握できずに寂しい」こと。島民諸君の力作をお待ちしています。



「浪華名所獨案内」を印刷してパネルに貼り、適当な形にカットすれば…。ピースに入っている地名がヒントに。



中央公会堂100周年のロゴも。

「自由に使える」といえば、今年100周年を迎える大阪市中央公会堂の記念ロゴを忘れてはいけない。色褪せない美しい姿は、今も昔も中之島のモチーフにふさわしい。昨年11月から2週間限定で近畿宝くじが公会堂柄になっていたのだが、これぞまさに現代のイメージだろうか。記念ロゴのデータは、中央公会堂のホームページからダウンロード可能。



申請も不要なので、これを使って100周年を盛り上げよう。

http://osaka-chuokokaido.jp/news/2017/09/27/_100.html



大阪ガスが季刊発行している「今昔タイムズ」は、デザインを工夫し、楽しい雰囲気。

大阪市交通局が駅で配布する「大阪港ものがたり」。昨年はポストカードがもらえるラリーも。



この天守閣が
目に入らぬか!?

A



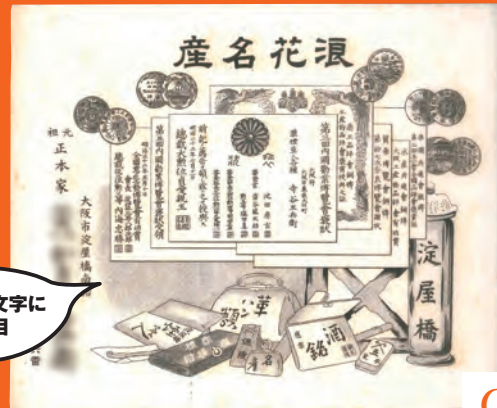
使い方を
覚えてね

B



チラシの文字に
ご注目

C



ヒントは大大阪時代の
在阪企業やお店です

これはなんの広告でしょう?

素敵なお洋服
だらけで迷うわ

1



ハイカラさんが
通ります

2



旅のおともは
私に決まりよ

お肌の調子は
ばっちりね

4



3.『大大阪』
出版・印刷業が発展したこの時
代、装紙の女性登場率は高い。
4.金田英雄寫真場
乙女の写真を意識したのか、
スポンサーは化粧品メーカー。

1.大阪三越
オシャレなモダン・ガールが、当時
の女性の購買意欲を煽る。
2.大阪バス
昭和11年発行。バスガイドの制
服にも注目が集まっていた。

C.かきや五兵衛
煙草・酒・保険の店。伏見宮貞愛
親王らのお墨付きをアピール。

A.舊瀬谷眼鏡店
9寸以上離さなければ見えない人
は、眼鏡の度が合っていない。
B.中央電話局
まだ電話が普及していなかった昭
和初期の、取扱説明のようなもの。

(答え)

笑ってるうちに
学べる落語会



ナカノシマ大学
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

21世紀の
懐徳堂
プロジェクト

◎今月の授業

【落語と日本史】

2018年3月講座

「ライブ! 上方落語史観」

落語／笑福亭たま 露の瑞

トーク／高島幸次(大阪天満宮文化研究所・大阪大学招聘教授)

上方落語のネタから歴史を読み解く話題の新刊。
本に登場するネタと解説をライブで再現!

上方落語は笑わせてナンボ。それだけに、落語家さんが話すのも
笑い優先のフィクションばかり…と思いきや、実は古典ネタには創
作された江戸後期～明治初期の歴史的背景や社会風俗が色濃く反
映されている。いわば落語は歴史の“教科書”なのだ。

そこに注目したのが、大阪の歴史研究の第一人者であり、天神寄
席でもおなじみの高島幸次先生。最新刊のタイトルは、その名もず
ばり『上方落語史観』。上方落語のネタをヒントに大阪の歴史を読
み解きながら、落語をより深く楽しむための入門書にもなっている。

今回はその本の内容をまさにライブでお届けしよう。本に登場す
るネタを大人気の笑福亭たまさんと露の瑞さんが実演。後半のトー
クでは、高島先生とたまさんが、落語のネタの歴史的な解説や、時
代によって移り変わる落語の面白さについて語り合う。笑っている
うちに、いつの間にか日本史の勉強にもなる、面白くたくなる落
語会です!

本がセットになった
豪華な落語会です!

高島幸次『上方落語史観』(1,500円・140B)



上方落語の功労者を祀る
大阪天満宮内の
高坐招魂社にて
大ヒット&満席止め祈願!

募集要項	「ライブ! 上方落語史観」 日時／2018年3月17日(土) 2:00PM～4:00PM頃(開場1:00PM～) ※開場時間より前には建物内に入れません 会場／大阪倶楽部 受講料／3,000円(『上方落語史観』+特製千社札シール付き) ※購入済みの場合、本持参で2,500円でご入場いただけます 定員／150名 主催／ナカノシマ大学事務局	お名前・ご住所・電話番号・人数・講座名を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。複数名でご参加希望の場合、ハガキ、ファックスについては、人数分の必要事項を明記してください。 〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルディング602号 「ナカノシマ大学3月講座」受付係 FAX.06-6484-9678 ※先着順で受付後、2月20日前後より受講票をお送りします。 ※受講料は講座当日に受付にてお支払いください。 ※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。 ※当日のお車ならびに自転車でのご来場はご遠慮ください。
------	--	--

ナカノシマ大学の最新情報は

<https://nakanoshima-daigaku.net/>

ケータイや
スマホからは
こちら→



お問い合わせ
☎06-6484-9677
(ナカノシマ大学事務局)

◎笑福亭たまが語るネタの聴きどころ

「平林」

寄席でもおなじみのネタ。もとは落語の祖とされる安楽庵策伝の『醒睡抄』に記された小話で、それを膨らませて現在のような演じられ方になりました。落語という芸能の原形のようなネタですね。軽い噺ですが、実は歴史は古いです。



つゆみずほ
露の瑞

2013年、露の都に入門。京都女子大学卒。明るくて陽気な落語で人気上昇中。誰にでも好かれる愛されキャラは、年配落語ファンからも注目されつつある。



笑福亭たま
1998年、笑福亭福笑に入門。師匠譲りの爆笑落語で大人気。毎月、古典・新作・ショート落語を発表する「月刊笑福亭たま」を開催するなど、圧倒的な熱量で新境地の開拓を続けている。

「野崎詣り」

野崎観音（慈眼寺）に参拝しようとする喜六と清八による珍道中。船で向かうことにした二人は、「野崎詣り」の名物である口喧嘩に加わりそうですが、その言い回しが楽しいところですね。三味線のお囃子も入って、上方らしいにぎやかなネタです。

「宿屋仇」

宿屋でゆっくり眠りたい侍の隣の部屋で、伊勢参り帰りの陽気な3人がドンチャン騒ぎ。侍はもちろん怒り心頭で、後半にかけてはサスペンスのような雰囲気も出てきます。でも、オチまで聴くとコメディになるという不思議な噺です。

落語 露の瑞「平林」
笑福亭たま「野崎詣り」
笑福亭たま「宿屋仇」
(中入り)
トーク 高島幸次×笑福亭たま
「上方落語史観のスヌ」

番組表



『上方落語史観』
発売記念
特別対談！

高島幸次×笑福亭たま 「常に変わりゆく、落語という芸能の難しさと面白さ」

高島 本を読んでくださって、正直なところ、いかがでしたか？

たま 面白かったです。それと同時に、のちの時代の人たちにとっての資料になるんじゃないかと思いましたね。

高島 なるほど。落語は古典と呼ばれるネタであっても、時代ごとにお客さんに合わせて常に変わっていきますからね。

たま 例えば、本の中で〈野崎詣り〉に出てくる「深草少将」のギャグについて書かれていますよね。このギャグは先代の桂春團治師匠がご存命だった頃は、全員が言うてたんですが、だんだん伝わりづらくなってきて、今ちょうど改変するかどうかの時期に差しかかっているんです。

高島 ただ、わからないことがあっても幾層にも笑いが仕込まれていて楽しめるのが、上方落語の懐の深さだと書きました。

たま そうだと思います。それで、実は僕はそのギャグは抜いているんですよ。ところが、そうやって削除した台本すら、また伝



わらない時代が来る。そしてまた改変する。そんな風に何層にも積み重なっているうちの、2017年時点の状況が書かれていて、ちょうどいいタイミングの本だなと思いました。

高島 確かに後世にとってはいい資料かもしれませんが。でも、これは落語の宿命で、明治維新の直後もきっと同じことが言われているはずですよ。鉄道が走るようになって、「駕籠かき」という職業がなくなったら、「住吉駕籠」はどうするねん、とか。古典落語だけでなく、長い歴史のある芸能は絶えずそういう波に晒されていること

になりますね。

たま 僕がやっていた柔道で言えば、白帯の時には三段と四段の違いがわからないんです。ただ、初段になると二段と三段の違いがわかる。二段になると、四段と五段の違いはわかるけど、六段と七段はわからないかもしれない。自分のレベルが上がると、その道の奥深さがわかるようになる芸能もありますが、落語は違うんです。それはお客さんが判断するから。

高島 そうか、落語は聞き手の好みによるところが大きいですね。いくら噺家が「どや、すごいやろ」と言っても、お客さんが「アカン」と言えばそこまで。（続く）

◎対談の全文は「みんなのミマガジン」で。『上方落語史観』はミマガジンのウェブマガジン「みんなのミマガジン」での連載が元になったものです。出版を記念した特設ページ(1月22日・23日更新分)では、高島先生と笑福亭たまさんの対談に加え、作家の久坂部羊さんも登場する後編も含めて、全文が読めます。ぜひご覧ください！

<http://www.mishimaga.com/special02/140.html>

天神繁昌亭
毎月25日のお楽しみ

天神寄席 嘸のおとこ

二月席のご案内

●お題「男女協働」

「活め活めと暮らす」

今月は、天神寄席始まって以来の一風変わったラインナップ！ 上方芸能を代表するパワフルな女性たちから元気をもらえそう。落語あり、浪曲あり、音曲漫才あり、多彩な芸を楽しめるのもなんだかお得。鼎談のゲストには、大阪大学理事・副学長の工藤眞由美さんが登場。男女協働推進・社会学連携を担当する工藤さんに、落語の世界での男女協働について聞いてみよう！

落語／桂佐ん吉「盗人の仲裁」
露の紫「厩火事」
春野恵子「浪曲」平成女事情
姉様キングス「音曲漫才」
露の都「星野屋」
鼎談「男女協働を語る」
ゲスト／工藤眞由美（大阪大学理事・副学長）
高島幸次（大阪大学招聘教授）
桂春之輔

大阪大学理事・副学長の工藤眞由美さん。産官学で「男女協働」を推進する。

ナカノシマ大学でお得な前売り券を発売中！

開催日／2月25日（日）
開演時間／6:00PM（開場5:30PM）／受付開始5:15PM
受講料／2300円（通常）前売2500円／当日3000円
お支払い方法／当日（5:15PM）
繁昌亭入口付近の「ナカノシマ大学受付」にてお支払いください。
※予定枚数に達し次第、予約受付を終了します。
※ナカノシマ大学では当日券の販売は致しません。
●お申し込み方法、お問い合わせ先はP10を参照してください。

四代目春團治襲名記念！
手塚治虫が手がけた
二代目春團治興行ポスター
を特別展示します。



女性落語家を牽引してきた露の都さんが男女の騙し合いを演じる「星野屋」。



桂あやめさんと林家染雀さんがコンビを組む姉様キングスは「音曲漫才」を披露。

イラスト／フジワラトモコ

十二月席のご案内

鼎談「オートファジーな落語」

「ゲテモノ食いの仕組み」

吉森保 高島幸次 桂春之輔

高 吉森保先生の専門分野であるオートファジー（自食作用）にちなんだ落語なんてないですから、「ゲテモノ食い」という特集を組んでみました。吉 どれもとてもおもしろかったですが、はつきり言ってまったく関係ありませんね。「蛇含草」はほんの少しだけオートファジーと似ています。あれは人が餅になってしまったけど、オートファジーの場合は身体の細胞が毎日自分を食べて、その分新しくなるんです。みなさんの身体は、かなり小さな30兆個の細胞でできていて、一つひとつが毎日自分を少しずつ食べているんです。食べて消化して、また材料になるんです。春 ぐるぐるまわる輪廻みたいなもんやね。吉 人間だったら、部屋にゴミが溜まって死にませんが、細胞の場合、中にゴミが溜まったら死んでしまいます。例えば、車は乗っていたら古くなりますが、今日はハンドル、明日はアクセル：というように毎日少しずつ部品を替えていったり、何十日かしたら、新車みたいになります。細胞はそれを勝手にやってくれているんです。入れ替わらないと病気になるますし、年を取るとオートファジーしにくくなります。高 歳をとるとオートファジーの作用が低下するようです。病気を防ぐだけではなく、人間の老化や寿命にも関わっているんです。春 我田引水やけど、やつぱり我々の芸もね、絶えず変わってないと。何事も停滞したらあきませんね。

クルーが毎月綴ります／

大阪水上バスの クルーズ歳時記

今月のオススメ アクアライナー 「観梅クルージング」

2017年は「インスタ映え」という言葉が流行し、大人から子どもまでキレイに撮った食べ物や風景の写真を「Instagram」にアップし、話題になりました。昨年は、うちもインスタ映えにチャレンジしてみました！



大阪水上バス
企画宣伝部
岸田俊徳さん

もちろんテーマは「中之島エリアを颯爽と走るアクアライナー」。私たちにとっては日常風景かもしれませんが、お客さまにとっては「いいね」。調子に乗って、キレイに撮れる時間帯やアングルを模索する日々です。

さて、今回ご紹介する「観梅クルージング」は、大阪城公園の梅を見に来るお客様に向けて用意した特別なクルーズ。アクアライナーは写真が撮りやすい大きな窓になっていて、船内からの撮影にうってつけなんです。カメラいっぱいに撮った梅のデータをチェックしながら、クルーズも楽しむというのはいかがですか？ インスタ映えする写真が撮れたら、ぜひ私たちにを見せてください！

「アクアライナー&
大阪キャッスルホテル・観梅プラン」
料金:大人3,000円(乗船料+観梅特別ランチ)
運航期間:2月17日(土)~3月11日(日)
乗船港:大阪城港または八軒家浜船着場

アクアライナー 観梅

☎06-6942-5511

こころまちつくり
KEIHAN
大阪水上バス

<http://suijo-bus.osaka/>

大阪市立デザイン教育研究所では、大阪新美術館建設準備室と共同でプロジェクトを進めている。テーマは「日常の視点から都市のデザインを考える」。中之島を舞台にフィールドワークを行い、学生た

ちが気になった建築物や景観をツアーにして紹介する。3回の授業を終えて、いよいよそのツアーが3月9日(金)に開催される。全4コースあり、定番をめぐるコースもあれば、中之島の謎を発見する趣向のコース、建築をスィーツに見立てたり、歴史を訪ねるコースもある。

中之島あるき建築・まちなみのデザイン再発見ツアー
日時/3月9日(金)1:30PM~(4:30PM頃終了予定)
集合場所/国立国際美術館メインエントランス前広場
参加費/無料
申し込み/氏名・年齢・住所・電話番号・希望コースを記入し、下記宛先まで往復ハガキ、FAX、メールのいずれかで申し込みを。〒553-0005 大阪市福島区野田1-1-86-8F 大阪新美術館建設準備室内「中之島まちなみあるき」係 FAX.06-6469-3897 shinbi@city.osaka.lg.jp
問い合わせ/☎06-6469-5189 ◎コースの詳細は大阪市立デザイン教育研究所のフェイスブックより。<https://www.facebook.com/2018nakanoshimaOMCD/>



学生たちが「発見」した中之島を一緒に歩いてみよう！

トウミン月報

2018年2月1日発行

あるぶん、発想も視点も自由。街をよく知っているつもりでも、自分と異なる見方は新鮮に感じられるはず。誰でも参加できるので、学生と一緒に中之島を歩いてみては。

(大迫力・本誌)

「大阪の恩人」五代友厚にちなんだスタンブラリー

催される。

朝ドラを火付け役にブームを巻き起こした、明治の偉人・五代友厚。2月12日の誕生日にちなみ、8日(木)~14日(水)までの「五代友厚生誕記念無料ウィーク」中、五代とゆかりの深い大阪企業家ミュージアムと大阪取引所OSEギャラリーでスタンブラリーが開

大阪商法会議所(現在の大阪商工会議所)を創設し初代会頭を務めた五代は、大阪株式取引所(現在の大阪取引所)の設立発起人という顔も持っていた。大阪経済の近代化の立役者が、どのような功績を収めたのか、当時の大阪はどのような様子だったのかを知ってもらおうべく、それぞれのミュージアムとギャラリーでは期間中無料で見学OKとのこと。

大阪の恩人「五代友厚スタンブラリー」2018
期間/2月8日(木)~14日(水)まで
大阪企業家ミュージアムと大阪取引所にてシートを配布。
記念品は先着1,000名様にプレゼント。
休館日/
大阪取引所OSEギャラリー 10日(土)~12日(月・休)
大阪企業家ミュージアム 11日(日・祝)~12日(月・休)
☎06-4964-7601(大阪企業家ミュージアム)
その他関連イベントなど、詳しくは<http://www.kigyoka.jp/>

ラリーポイントを回りながら、五代その人に迫ろう。

2施設のスタンブを集めた人にはオリジナルポストカード3枚組を進呈。先着なのでお早めに。(江口由夏・本誌)





「はじめましてのつもりで、 試行錯誤ばかりしていました」

パン職人の朝は早いですよ。うちは午前3時に厨房に入り、午前7時の開店時に第1弾のパンたちが出揃います。開店後も午前9時までひたすら焼き続け、一段落して翌日の仕込みがスタート。朝ごはんの間に合わせようと逆算したら、そんなサイクルになりますね。冬の朝はまだ真つ暗で、寒さもこたえますが（笑）

もともと桃山台駅近くに本店、阪急箕面駅前に3号店があり、同じ箕面にあった2号店が中之島に移転した形です。パン職人になりたくて沖縄から大阪へやって来た時も、やはり大都会は進んでいるなど感動したのですが、同じ大阪でも北摂エリアと中之島は雰囲気がまったく違うんですね。お客さんの層も違います。

ちょうど北摂の有名なパン店がいくつか大阪の中心部に進出していたタイミングもあり、グルメなお客さんにうちのパンを受け入れてもらえるか、不安な部分もありました。本店で人気の定番商品を始め、全体的に素材を見直したり、あれこれ試してもらえるように、ひと回り小ぶりに作り直してみたり、新商品を考えたり…。「はじめまして」のつもりで、準備中は試行錯誤ばかりしていました。



かりしていました。

これまで人気だった商品が中之島でも



人気で、ほっとしました。ただ、バゲットやカンパーニュといった食事に合わせるハード系パンよりも、サンドイッチやデニッシュのようなパンがよく出るのは新発見。確かに、忙しいお昼にさっと食べようと思うと、そういうチョイスに

なりますよね。新しい環境に合わせて作り手も考え方を変えなくては、と勉強になりました。

とはいえ、店内に置いた石臼で小麦を製粉して作った「石うすバゲット」や「くるみとゴルゴンゾーラのカンパーニュ」など

島民に合うパンの味を日々考える 「Boulangerie a bientôt」中之島店 副店長 恩納正汰さん

などは昔からファンの方が多く、私自身も大好きな自信作です。作り方や素材がシンプルだからこそ、温度や発酵時間の調節、ちよつとした一手間でパン屋の個性がにじみ出てきます。移転した後も、遠方からわざわざ買いに来てくださるのは嬉しいですね。ちよつといいワインやチーズが手に入ったら、試してみてください。オーブンから日も経ち、もつと新しいお客さんとコミュニケーションを取りたいというのが本音。なかなか厨房から出る時間がないのですが、お客さんの表情からひらめき、試作品ができることもあるので。最近ではハンバーガーのパンズに興味津々なんです。読者の皆さんは、ハンバーガーは好きですか？



祝 祭 へ よ う こ そ 。

FESTIVAL
PLAZA

<http://festivalplaza.jp/>
提供 / 株式会社 朝日ビルディング

Information from Boulangerie a bientôt 中之島店 [中之島フェスティバルタワー・ウエストB1階]

ピーク時なら40種類以上のパンが並ぶ。おすすめは石うすバゲット(302円・ハーフ151円)や、くるみとゴルゴンゾーラのカンパーニュ(大540円・小248円)。甘い「ダノワーズ」(237円)やピザ(270円)などは、小ぶりサイズに甘えてあれもこれもトレイに載せてしまうのでご注意。イートイン席は、クイックランチやコーヒーブレイクに重宝する。

☎06-4706-0202 7:00AM~8:00PM



大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、
みんな「島民」です！



『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪電車関連 京阪電車主要駅／京阪特急プレミアムカー／京阪シティモール／京阪モール／パナソニック京阪天満橋／ホテル京阪 天満橋／ホテル京阪 京橋 グランデ
- 大阪市北区・中央区・福島区 〔書店〕旭屋書店 梅田地下街店／紀伊國屋書店 梅田本店・グランフロント大阪店・本町店／ジュンク堂書店 大阪本店・梅田ヒルトンプラザ店・天満橋店／MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店／文芸堂書店 淀屋橋店／隆祥館書店 〔公共施設・大学関連施設など〕アイズボット／朝日カルチャーセンター／味の素 食のライブラリー／ABC朝日放送／大阪企業家ミュージアム／大阪倶楽部／大阪工業技術専門学校／大阪国際会議場／大阪中央公会堂／大阪市立科学館／大阪市立総合生涯学習センター／大阪市役所市民情報プラザ／大阪城天守閣／大阪商工会議所／大阪大学中之島センター／大阪21世紀協会／大阪府立中之島図書館／大阪ボランティア協会／大阪歴史博物館／追手門学院 大阪梅田サテライト／川の駅はちけんや／関西学院大学 大阪梅田キャンパス／慶應大阪シティキャンパス／国立国際美術館／CITYNAIL'Sインターナショナルスクール／芝川ビル／市立住まい情報センター／少彦神社／中央電気倶楽部 適塾／ドーチャ／ホテルNCB／メビック扇町／立命館大阪オフィス／龍谷大学大阪梅田キャンパス 〔店舗・医院など〕アントール 本町本店／上町貸自転車／Ultra 2nd／江戸前料理 志津可／天満橋鍼灸整骨院／MJB珈琲店／エルマーズグリーン コーヒーカウンター／大西洋服店／OOO(オー)／カセツ／喫茶カンターロ／喫茶SAWA／グラススイート中之島／黒門さかえ／コモンカフェ／The Court／サウワ花店 中之島本店／ザ・メロディ／シアトルベストコーヒー新聞ビル店／じろう亭／Girond's JR／心齋橋山田兄弟歯科／住友病院／セブンイレブン大阪証券取引所店／タビエスタイル／たまがわ鍼灸整骨院／東郷歯科医院／NAKAGAWA1948 淀屋橋店／ナンジャーノ／パストラーレ／花かつ／BAR THE TIME 天神／平岡珈琲店／ビルマニアカフェ／FOLK／フレイムハウス／ミニジロー／宮崎歯科／やきとりばかや／吉田理容所／LES LESTON
- 大阪市内その他 〔書店〕旭屋書店 なんばCITY店／紀伊國屋書店 京橋店／ジュンク堂書店 難波店／福島書店／柳々堂／ループル書店 〔公共施設・大学関連施設など〕大阪科学技術館／大阪市社会福祉研修・情報センター／大阪市立中央図書館／大阪府立江之子島文化芸術創造センター／川口基督教教会 〔店舗・医院など〕あじさい／アートアンドクラフト／欧風食堂 ミリパル／大阪シティ信用金庫 江戸堀支店／御角かもめ／カルチャーカフェ上方／Calo Bookshop and cafe／写真とプリント社／鳥かごキッチン／ネイルサロン スワナ／バルビコ／ホステル64オオサカ／MANGUEIRA／Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店／学運堂 Books 呼文堂／水嶋書房 ぐずはモール店／大阪狹山市立図書館／大阪市立難波市民学習センター／大阪大学企画部広報・社学連携事務局／大阪大学 21世紀懐徳堂／大阪大学本部／大阪府立中央図書館／摂南大学 地域連携センター／野村呼文堂／郵政考古学会／ゆったりんこ／連携考房 童子
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 西宮店／恵文社 一乗寺店／水嶋書房 丹波橋店／伊丹市文化振興財団／川のほとりの美術館／納屋工房／タバーン・シンパソン／百練／奈良県立図書館情報館／龍谷ミュージアム
- 東京 往来堂書店 (千駄木)／BOOKSルエ(吉祥寺)／B&B(下北沢)／隣町珈琲(原宿中庭)／ONLY FREE PAPER(東小金井)／かもめブックス(新宿)

◎バックナンバーが見られます。

最新号の発行と同時に、ひとつ前の号がweb上で閲覧できるようになります。創刊号から見たい方はこちらから。<https://nakanoshima-daigaku.net/about/tomin/>

◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

次号予告「もしも」に備える。

公園でのんびり、電車の中、船の上、ビルで仕事、コンサートの真っ最中…。
こんなときどうする？ 中之島で進められつつある地震や水害への災害対策。

●『月刊島民』vol.116は2018年3月1日発行です！

編集・発行人／大迫 力(編集集団140B)

編集・発行／月刊島民プレス

若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)

松本 創 江口由夏(編集集団140B)

〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルディング602号

TEL.06-6484-9677 FAX.06-6484-9678

制作進行／堀西 賢(ALEGRESOL)

デザイン／山崎慎太郎

表紙イラスト／奈路道程

印刷／佐川印刷株式会社

